

医療用医薬品供給状況データベース DSJP 利用規約

(目的)

第1条

1. 本規約は、医療用医薬品供給状況データベース DSJP 管理者（以下「管理者」という。）が提供する「医療用医薬品供給状況データベース DSJP」（以下「DSJP」という。）の利用に関わる一切の關係に適用する。

(定義)

第2条

1. DSJP が公表しているデータに関わるものを含めて「データベース」と呼ぶ。
2. DSJP を閲覧し、又は利用するものを「利用者」と呼ぶ。
3. 利用者が DSJP により提供された情報を用いて開発したサービスを利用する者を「二次利用者」と呼ぶ。
4. 利用者及び二次利用者を合わせて「利用者」と呼ぶ。
5. DSJP 及び DSJP により提供された情報を用いて開発したサービスを合わせて「DSJP」と呼ぶ。
6. 管理者とは「一般社団法人 a s T a s」を意味する。

(利用資格及び利用の停止)

第3条

1. DSJP の利用者は、本利用規約の一切に同意をした者とする。
2. DSJP の管理者は、利用者に本利用規約に違反する行為があった場合、又はサーバに過度の負荷をかけるような利用を継続的にした場合、DSJP への接続拒否、登録された利用者情報の削除等の措置を行うことができる。

(会員区分と登録情報)

第4条

1. DSJP の利用者は、以下の会員区分を選択して利用することができる。
 - ・フリープラン（無料）
 - ・トライアルプラン（無料）
 - ・ライトプラン（有料）
 - ・ベーシックプラン（有料）
 - ・プレミアムプラン（有料）
 - ・プロフェッショナルプラン（有料）

2. 有料プランの利用希望者は、管理者が指定する手続に従い、以下の情報を登録する必要がある。
 - ・氏名、生年月日、所属、職種
 - ・法人名、施設名、郵便番号、住所、電話番号
 - ・その他、管理者が指定する情報（クレジットカード情報を含む）
3. 有料プランの料金は、ウェブサイト等で提示された額とし、管理者は利用者への事前告知をもって変更できるものとする。

（有料プランにおける課金・決済）

第5条

1. 有料プランの決済手段には、原則として Stripe を利用したクレジットカード払いを採用する。
2. 利用者が何らかの理由で返金を要望する場合、利用者はサポートへ相談し、状況を鑑みて管理者と協議の上、対応を決定するものとする。

（利用者の責務）

第6条

1. 利用者は、自己の責任と判断に基づいて DSJP を利用する。
2. 利用者は、DSJP を利用するに当たり、管理者又は第三者に損害を与えた場合、かかる損害を賠償するものとする。
3. 利用者は、DSJP により提供された情報を用いて開発したサービスについて、管理者に情報提供を行う。
4. 利用者は、前項のサービスの利用者に、本利用規約を遵守させるものとする。
5. 利用者が DSJP により提供された情報を用いて論文発表等の公表を行う場合、事前に管理者に通知を行うものとする。

なお、公表する文書等の中に、必ず DSJP を利用した結果であることを明記し、適切に引用すること。
6. 利用者は、DSJP のアクセスが高トラフィック時やメンテナンス期間中に制限される可能性があることを理解し、同意するものとする。
7. 利用者は、提供されたフィードバックフォームを通じて、情報の提供及び修正、データベースの改善点や問題点を報告するよう努めるものとする。

（禁止事項）

第7条

1. 利用者は、DSJP の利用に当たって、以下各号の行為又はそのおそれのある行為を

行ってはならない。

- (1) DSJP 又は第三者の所有権、著作権を含む一切の知的財産権等の正当な権利を侵害すること
 - (2) 他の利用者又は DSJP 若しくは第三者に不利益、損害を与えること
 - (3) 公序良俗に反すること
 - (4) 法律、法令等に違反すること
 - (5) DSJP の管理及び運用を妨害すること
 - (6) DSJP の信用を失墜、毀損させること
 - (7) DSJP に対し、不正と判断されうる一切のアクセス方法を実施すること
 - (8) DSJP について改変の有無にかかわらず、利用者の独断により二次的に販売、頒布することは管理者が許可した場合を除いて原則認めない
 - (9) 二次利用者に本利用規約を提示せずに、DSJP により提供された情報を用いて開発したサービスを利用させること
 - (10) DSJP に関わるデータについてクローリングまたはスクレイピング、ロボットやマクロコマンドなどの方法により自動的に情報を抽出すること
 - (11) DSJP に関わるシステムについて、プログラムコードやソースの閲覧、改変、複製すること
 - (12) クロスサイト・スクリプティング (XSS)、SQL インジェクションなどの攻撃手法により、DSJP のシステムや他の利用者の情報を不正に取得・改変又はシステムを損傷すること
2. 前項の場合において、DSJP が何らかの損害を被った場合、利用者は DSJP 管理者に対して損害の賠償をしなければならないものとする。

(免責)

第8条

1. 管理者は DSJP に使用するコンピュータデータベース等の障害、その他 DSJP に起因するいかなる損害についても、賠償する義務を一切負わない。
2. 管理者は、利用者が使用するコンピュータ、回線、ソフトウェア等の環境に基づき生じた損害について、賠償する義務を一切負わない。
3. 管理者は、利用者が DSJP を利用したことにより発生した利用者の損害及び利用者が第三者に与えた損害について一切の責任を負わない。
4. 管理者は、DSJP に関し、変更、停止、中止、廃止、その他システムに関連して発生した事象により利用者又は他の第三者が被った損害について一切の責任を負わない。
5. DSJP に掲載される医薬品の情報は、可能な限り正確かつ最新であることを目指すが、その情報の完全性や正確性を保証するものではなく、利用者は独自に情報の最新性を確認する責任を負うものとする。

(著作権等)

第9条

1. DSJPに係る著作権及び知的所有権等全ての権利は、管理者に帰属する。

(保守等)

第10条

1. 管理者は、必要に応じ、DSJPの名称、内容、URL等をDSJPを公開するウェブページに掲載の上、変更することができる。
2. 管理者は、DSJPの品質を向上させるため又はDSJPの運用状態を良好に保つため、当該ウェブページにより告知した上、システムの運用を一時的に停止することができる。
3. 管理者は、DSJPの品質を向上させるため、利用者に対してシステムの改善、充実に資する意見を求めることができる。

(DSJPの提供の終了)

第11条

1. 管理者は、事前告知無くDSJPの提供を終了することがある。
2. 利用者は、前項に基づくDSJPの提供終了についてあらかじめ承諾するものとする。

(本規約の変更)

第12条

1. 管理者は、必要があると認めるときは、利用者への事前の要せず、いつでも本利用規約を改正することができる。
2. 管理者は、本利用規約の改正を行った場合には、当該ウェブページに遅滞なく掲載し、公表するものとする。

(準拠法、及び協議・管轄裁判所)

第13条

1. 本利用規約には、日本法が適用される。
2. 本利用規約に違反しない範囲で、DSJPに関連し、管理者および利用者または第三者との間で疑義、問題が生じた場合、都度誠意をもって協議し、解決を図る。

附則

2021年9月5日 制定・施行

2023年10月16日 改定

2024年3月1日 改定

2025年2月26日 改定